



4 Address | 6 Control | 7 Address | 11 Control | 12 Control | 13 Market | 14 Address | 15 Modern | 17 Control | 17 Control | 18 Control









日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に 引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活 動を推進するとともに、自然学校を運営しています。



セブン-イレブン記念財団は、 このプロジェクトに賛同しています

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO2削減」と 「豊かな自然環境の再生」を進めています。

蒸発

海

- ●アマモがCO₂を吸収して 酸素をつくる
- ●海が浄化され魚の餌場や 産卵地になる

降雨

CO2:二酸化炭素 カーボン:炭素

- 森林に降った雨が腐葉土に 蓄えられミネラルの多い水
- ●森林の土壌が水を貯蓄し急 激な出水や土砂災害を防ぐ
- 雨水が森林土壌で濾過され て水質が浄化される



ブルーカーボン Blue Carbon

- 水中に張り出した根や倒木 が魚の隠れ場所になる
- ●腐葉土から染み出る養分が プランクトンを増やす
- 日陰が水温を下げ、低温を 好む魚がすみやすくなる
- 土砂が河川に流れ込む のを防ぐ 🙌 🙌

グリーンカーボン Green Carbon

森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活動を行い、健全な森をつくることです。2006年にスタートさせて以来、全国で森・海・湖・湿原・草原などさまざまな「セブンの森」づくりに取り組んでいます。



「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO 法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」集合写真

アマモの種

2014年から間伐材 を利用した木製募金 箱を店頭に設置し、 木材を循環させてい くことで森林保全と



「宮城セブンの森」補植作業

地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者 就労支援事業所で組み立てています



アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO2を減らすアマモを増やして豊かな海に再成する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。

現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾で阪南セブンの海の森、松島湾で

塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、 陸奥湾で青森セブンの海の森の5カ所で活動してい ます。



「東京湾UMIプロジェクト」集合写真

環境省との協定締結

2021年3月12日(金)にセブン-イレブン記念財団は、環境省大臣官 房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の3者と 「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定書」を締結しました。



環境省協定式写真

〈協定の概要〉

目的 三者が協力し、地域社会の持続的な発展に寄与すること

●環境保全活動及び環境の保全に関する協働取り組みに関する事項 協力内容

2SDGs達成に向けた取り組みに関する事項

③その他、本協定の目的に資する事項とし、具体的な協力事項は別途、三者で協議して 定めるものとする

本協定に基づき、三者で協議会を立ち上げ、以下について実施してまいります 協力活動

●地域循環共生圏(ローカルSDGs)についての普及啓発、多様な主体の参画を推進する

●地域循環共生圏(ローカルSDGs)の各地域での取組事例など情報発信を行う

●各地域の環境保全活動の支援者間及び実施者とのパートナーシップ形成支援

●助成等各種支援に関する情報発信を実施する

地域循環共生圏(ローカルSDGs)

~地産地消で人・もの・お金・想いを循環させ、強い地域づくりを~

"地域循環共生圏"とは、各地域が足もとにある地 域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を 形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え 合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環

し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す 考え方であり、地域でのSDGsの実践(ローカル SDGs)を目指すものです。



地域循環共生圏「地域の活性化・持続可能な地域」 出典:環境省



「環境省ローカルSDGs | 企業等登録制度

セブン-イレブン記念財団は、環境省ローカルSDGsの理念に賛同し、「環境省ローカルSDGs」企業等登録制度に登録いたしました。

セブン-イレブン記念財団は、「人と自然」「人と人」「人と社会」を深く繋げ、今ある資源を最大限に活用し更なる価値を生み出すことで、地域の市民団体が新しい社会の担い手として活躍し、人と自然が共生する持続可能な循環型社会を目指しています。

「環境省ローカルSDGs」企業等 登録制度とは

この制度は、地域の構想づくりやローカルSDGs (地域循環共生圏) ビジネスの実現に向けた知見や技術の提供、実践地域との交流、企業同士の学びあいやネットワークづくり、環境省や他省庁との意見交換などの機会を提供させていただくための登録制度です。 (環境省ホームページより)

環境省ローカルSDGs 実践地域

セブン-イレブン記念財団の自然環境保護・保全事業である「セブンの森」にて、共に活動している学校や行政が環境省ローカルSDGs実践地域に登録されています。



「茨城セブンの森」ホタル観察小屋づくり

茨城セブンの森 水戸英宏幼小中(学校法人緑丘学園)



ホタル観察小屋づくり 資材運び

茨城県水戸市の水戸英宏小学校・中学校との出会いをきっかけに、 初めての河畔林を再生する「茨城セブンの森」活動を千波湖周辺で 2018年から開始しました。セブン-イレブン記念財団は、茨城県、



観察道づくり 廃タタミ敷き詰め作業

ホタルネットワークmitoと10年間の協定を結び、桜川緑地の県有地を「茨城セブンの森」として、水戸市や地域の方々と一緒にホタルが舞う河畔林環境の再生に貢献し、地域の発展に向け活動を支援しています。

阪南セブンの海の森 阪南市

大阪府阪南市は、豊かな地域資源を活用し地域が支え合う「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しない」持続可能な協働・ 共創のまちづくりを目指しています。

セブン-イレブン記念財団は、水質浄化やCO2を削減する効

果があるアマモを増やし、豊かな海に再生する活動に取り組むと共に、地元市民団体、漁協組合、教育機関、行政等が連携して行う体験型の自然再生・保全活動「阪南セブンの海の森」活動を支援しています。



アマモ採取



海岸清掃活動

「セブンの森」づくり一覧 (全28ヶ所、うち終了11ヶ所) 2022年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20 年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にす る、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に 繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。 2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地 域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然 体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度~2021年度)

沽 動凹数	21/0
加盟店と本部社員参加人数	13,712名
一般参加人数	5,735名
参加者数合計	19,447名

都道府県	名 称	場 所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年~2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年~2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年~	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年~	480.8ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年~	<u> </u>	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年~	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年~2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年~2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年~	<u> </u>	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年~2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年~	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年~2018年終了	2.0ha	森林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年~2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年~		海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年~	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森 〜おばやま自然公園〜」	2017年~	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年~	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 [埴科郡坂城町	2012年~2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 Ⅱ	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年~	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年~2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年~	_	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年~2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年~	_	海
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年~2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲渕	2015年~2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年~	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年~2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年~	600ha	草原

面積合計 1768.4 ha



日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動

豊かな生態系を抱く霧 多布湿原を次世代に引き 継ぐために、「小さな力が 集まって、大切な自然遺産 を残していく | ナショナル トラスト運動を推進して います。

北海道浜中町の認定

NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパート ナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民 有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



「霧多布セブンの森」集合写真



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地 (撮影:ノーザンフォト 北村康春)

取得面積 480.8ha (2022年2月末日現在)

琵琶湖保全活動

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐた め、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の 会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を 締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小 さな自然再生を実施しています。

湖岸清掃活動



ゴミ分別の様子

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官 学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分 別作業を力を合わせて行っています。



「滋賀セブンの森」集合写真



富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環 境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年 より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団 富士山保全活動」を主催し、認定NPO法人富士山クラブ の協力を得て山梨県側と静岡県側を交互に清掃や外来種 駆除などを行っています。

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を 基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で 自然学校を運営しています。



九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草原性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

また九重町教育委員会や地域団体と連携し、自然体験を通じて、子どもたちのふるさとを愛する心を育む環境学習に取り組んでいます。



体験プログラム 稲刈り

大分セブンの森



協定式記念写真

2021年6月17日(木) 飯苗高原一帯の環境を守ろうと大分県、九重町、飯田高原野焼実行委員会、セブン-イレブン記念財団の四者が「大分セブンの森」整備・保全に関する協定を締結しました。



集合写真

「セブンの森」として"草原"が対象となったのは初めてであり、草原の大切さや豊かさをたくさんの人たちに知っていただくため、地域の人たちと共に活動を進めてまいります。

高尾セブンの森



階段作り杭打ち作業

高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の 方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全 する活動を実施しています。また森を整備するだけでなく、



下刈り作業

森づくりの必要性について の講習なども行っています。 2021年までに、計28回延

べ1,150名の方と共に森林整

備を行って参りました。

高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点 施設を構えて取り組む協働事業です。2015年4月に開校し、 東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールド に、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に 寄与します。また、東京都レッドリストに掲載されている貴 重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性 を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代 に継承していく人材を育てます。

管理棟で受付を済ませればどなたでも自由に来館できます。

森の中の散策路や遊具で自由に遊ぶこともでき、季節によって様々な生き 物や植物を観察することができます。

また週末には、様々なプログラムやボランティア活動を行っています。 都心に近い立地を生かし、保育園、小学校、中学校、高校、企業の自然体験活 動や自然観察会の受け入れも行っています。



スタッフ集合写真



体験プログラム しめ飾りづくり



体験プログラム 野鳥観察